

本件の報道解禁につきましては、令和7年10月22日(水)午後2時以降に
お願いいたします。

【本件リリース先】

文部科学記者会、科学記者会、
広島大学関係報道機関



広島大学

NEWS RELEASE

広島大学広報室
〒739-8511 東広島市鏡山 1-3-2
TEL : 082-424-4383 FAX : 082-424-6040
E-mail: koho@office.hiroshima-u.ac.jp

令和7年10月10日

記者説明会（10月22日（水）13時・霞キャンパス）のご案内

再発頭頸部がんに対する新たな治療戦略へ向け、
広島大学病院で治験を開始しました

情報提供

【本治験のポイント】

- 頭頸部がんに対する新たな治療法の治験を開始
- 免疫を活性化することで、生活の質を維持しつつ、高い治療効果が期待

【概要】

広島大学病院では、口腔がんや咽頭がんなどの頭頸部がんに対し、光免疫療法（アルミノックス治療）と免疫チェックポイント阻害薬（抗PD-1抗体）を併用する新たな治療法の治験を開始しました。

本件につきまして、下記の通り記者説明会を開催いたします。

ご多忙とは存じますが、ぜひご参加いただきたく、ご案内申し上げます。

記

日 時：2025年10月22日（水） 13：00～14：00

場 所：広島大学病院 臨床管理棟2階 2F1 会議室（広島市南区霞1-2-3）

出席者：上田勉（広島大学病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 診療教授）

【背景・治療内容】

頭頸部がんとは、口腔がんや咽頭がんなどの、顔面や首に発症するがんのことで、がん全体の中で6番目に多く発症しています。発症および再発、他部位への転移等が発生した場合、手術が第一選択肢となることが一般的ですが、重要な器官や機能の喪失、外見の変化を伴うことが多く、患者のQOL（生活の質）に大きな影響を及ぼします。そのため、手術以外の治療法が選択されることもあります。いずれの治療も効果には限界があり、治療戦略の選択には慎重な判断が求められます。

2021年より日本では、がんに対する新たな治療法として、進行・再発頭頸部がんに対するアルミノックス治療（光免疫療法）の単独が保険診療として導入されました。アルミノックス治療とは、がん細胞だけを狙って破壊する治療法のことです。アキラルックスという薬剤を点滴で投与したのち、特定の波長のレーザー光をがん照射することで、がん細胞の膜に傷をつけて破裂させます。この治療法は放射線治療や抗がん剤治療と比べて体への負担が軽く、また再発や転移したがんにも効果が期待されるものです。

広島大学では、患者ごとの病態に応じて、手術・薬物療法・アルミノックス治療の中から最適な治療法を、頭頸部腫瘍チームが協議のうえで決定しており、これまでに22例、52回のアルミノックス治療を実施し、腫瘍の消失や縮小効果が確認されていますが、単独療法としての効果には限界があります。

そこで、薬物療法や手術でも制御が困難な症例が存在する中、今回、アルミノックス治療と免疫チェックポイント阻害薬（抗PD-1抗体）の併用療法の治験を開始しました。

免疫チェックポイント阻害剤とは、免疫の力でがんを攻撃できるようにする薬です。私たちの身体の免疫細胞には「免疫チェックポイント」という、誤って正常な細胞を攻撃しないようにするためのブレーキ機能がついているのですが、がんはこの仕組みを悪用し、免疫細胞に自分を攻撃しないように信号を送り、免疫の攻撃から逃れるようとします。免疫チェックポイント阻害剤はこのブレーキ機能を外す効果を持ち、免疫細胞ががんを再び攻撃できるようにします。

非臨床試験では、これらの治療法の併用により、それぞれの単独療法と比較して、再発頭頸部扁平上皮がん（HNSCC）に対する抗腫瘍効果が増強される可能性が示唆されており、今回の治験に対する期待は大きいものとなっています。

【今後の展開】

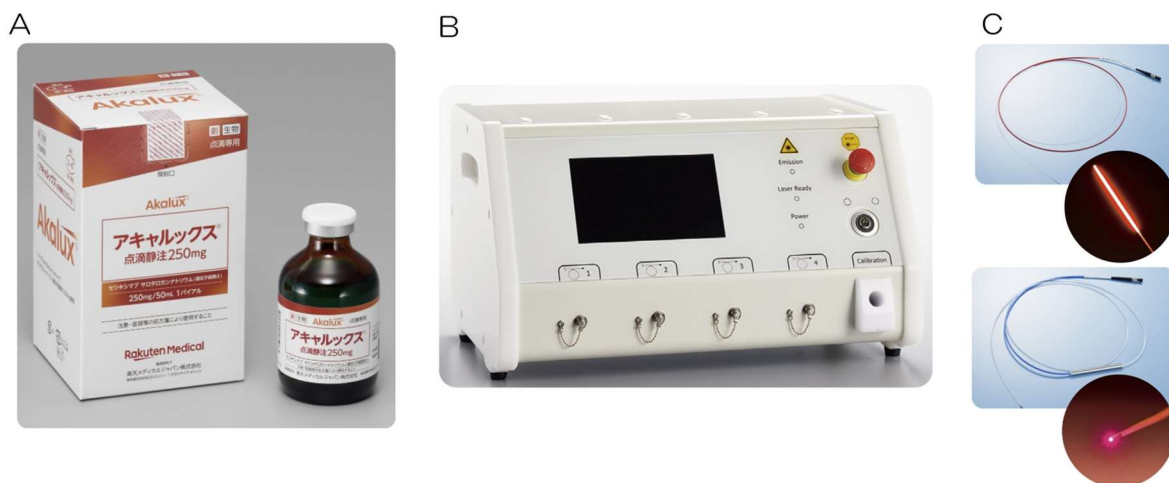
アルミノックス治療（光免疫療法）と免疫チェックポイント阻害薬（抗PD-1抗体）との併用療法により、がんの制御とともに器官・機能の温存を両立できる可能性があります。患者の生活の質を維持しながら、より高い治療効果を目指す新たな治療戦略として、今後の臨床応用が期待されます。

【参考資料】

アルミノックス治療

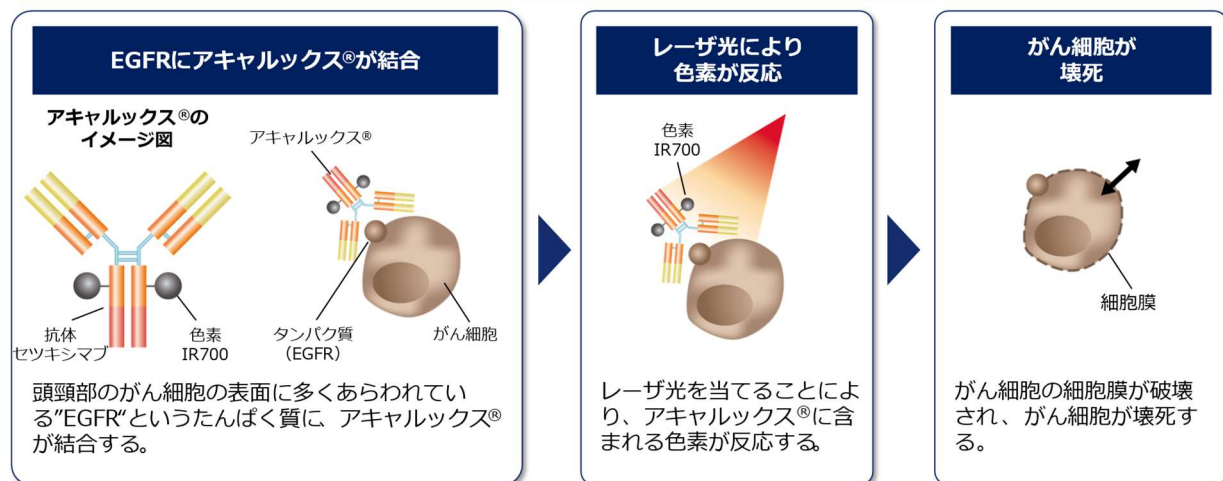
頭頸部アルミノックス治療で用いる医薬品および医療機器

- A. アキラルックス®
- B. BioBlade®レーザシステム
- C. 上：シリンドリカルディフューザー，下：フロントアルディフューザー



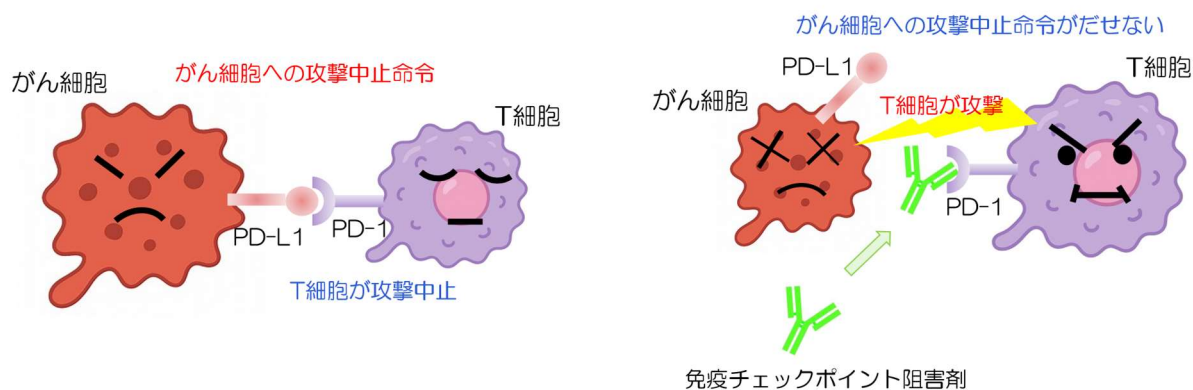
楽天メディカル株式会社提供資料

頭頸部アルミノックス治療の構成及び作用機序



楽天メディカル株式会社提供

免疫チェックポイント阻害剤



【本件に関するお問い合わせ】

広島大学大学院医系科学研究科 耳鼻咽喉科学・頭頸部外科学
Tel : 082-257-5252 FAX : 082-257-5254
E-mail : jibi@hiroshima-u.ac.jp

【本件報道に関する問い合わせ】

広島大学病院運営支援部総務グループ
Tel : 082-257-5418
E-mail : byo-toku-chousa@office.hiroshima-u.ac.jp

発信枚数：A4版 5枚（本票含む）

(別紙)

【FAX返信用紙】

FAX：082-424-6040

広島大学広報室 行

記者説明会（10月22日13時・霞キャンパス）のご案内

再発頭頸部がんに対する新たな治療戦略へ向け、
広島大学病院で治験を開始しました

日 時：2025年10月22日（水） 13:00～14:00

場 所：広島大学病院 臨床管理棟2階 2F1 会議室（広島市南区霞 1-2-3）

出席者：上田勉（広島大学病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 診療教授）

☐ ご出席

☐ ご欠席

貴 社 名 _____

部 署 名 _____

ご 芳 名 _____（計 人）

電 話 番 号 _____

誠に恐れ入りますが、上記にご記入頂き、10月20日（月）12:00までにご連絡願います。

◆会場（霞キャンパス）

